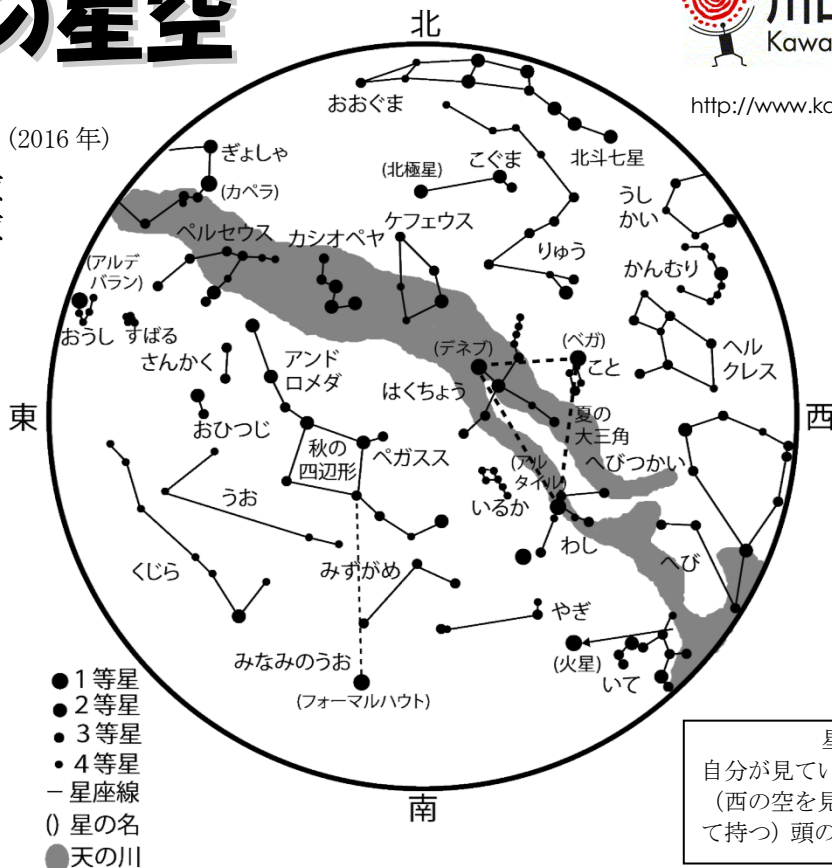


今月の星空

10月 (2016年)

上旬 21 時頃

下旬 20 時頃



- 月 齢 ● 新月 1 日、○ 上弦 9 日、○ 満月 16 日、● 下弦 23 日、● 新月 31 日
- 惑星情報 水星 明け方 東 (上旬) (しし座 → おとめ座 → てんびん座 -1 等級)
- 金星 夕方 西 → 南西 (てんびん座 → さそり座 → へびつかい座 -4 等級)
- 火星 夕方 南 (いて座 0 等級)
- 木星 明け方 東 (中旬以降) (おとめ座 -2 等級)
- 土星 夕方 南西 (へびつかい座 0 等級)

☆ 十三夜 (後 (のち) の名月) (13 日)

13 日は旧暦 9 月 13 日にあたります。この日の月は、十五夜 (中秋の名月) に次いで美しい月とされていて、「後の名月」とも呼ばれます。江戸時代には十五夜に月見をしたら、十三夜にも同じ場所で月見をするものとされていました。この時期は、秋が深まって晴れることが多く、「十三夜に曇りなし」という言葉があるほどです。満月前の少し欠けた月を楽しんでください。

☆ 金星と土星が見かけ上、接近 (30 日)

図のように、夕方、南西に見られる土星が少しずつ高度を下げて金星に近づいていきます。そして、30 日には 3 度 (満月 6 個分ほどの幅) まで見かけ上、接近します。この様子をぜひ観察してください。

11 月 2 日と 3 日には、ここに月が加わり、夕方の南西の空が大変にぎやかになります。

☆ 南の空に見られる、みなみのうお座の 1 等星「フォーマルハウト」

秋の星座は明るい星が少なく、少し寂しい感じがします。その中で目印になるのが、東の空高くに見られる「秋の四辺形」です。四辺形の西側にある 2 つの星を南側にのぼすと、みなみのうお座の「フォーマルハウト」にたどりつきます。この星は秋の星座では唯一の 1 等星で、近くに目立った星がないことから、「秋のひとつ星」とも呼ばれます。「フォーマルハウト」の名前はアラビア語の「ファム・アル・フト」(「魚の口」という意味) に由来し、その名の通り、みなみのうお座の口の位置にあります。星座絵では、みずがめ座からこぼれ落ちた水をみなみのうお座が口 (フォーマルハウト) から飲み込んでいるところが描かれています。

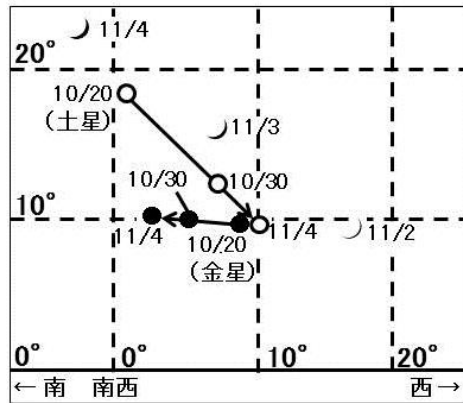


図 金星 (●)、土星 (○)、月 (☾) の位置
(10月20日から11月4日の午後5時40分)